

玄海自然アート



活動内容	海浜や「玄海の家」敷地内に落ちている自然物を使って、作品を作ります。「玄海の家」での思い出を形にして残すことのできる活動です。海浜清掃などと関連付けて行うこともでき、拾ったものを作品に生かすこともできます。		
------	---	--	--

対象	必要時間	活動人数	活動形態
制限なし	1~3時間	制限なし	一斉
活動場所	必要引率者	活動適正期間	自然・感性 <input checked="" type="checkbox"/> 創意工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 主体・計画 <input checked="" type="checkbox"/> 協調・協働 <input type="checkbox"/> 粘り強さ <input type="checkbox"/> 人間関係 <input type="checkbox"/>
各研修室	安全管理	通年	

活動の流れ	利用団体		「玄海の家」の職員
	事前	【打合】活動場所	【打合】活動場所
	活動	説明開始時間等、準備物等の確認 【準備】使用する装飾を松林・海浜等で拾っておく ※活動中に拾いに行ってもよい	【準備】工作で使用する物品の用意 【指導】活動上の指導を行う ・工作の説明、片付け ・グルーガンの使用方法 ・諸注意
【集合】活動場所 ①説明を聞く(10分) ②自然物を集めに行く(活動前でも可) ※荒天時は持参推奨 ③工作開始 ・グルーガンやボンドを用いて、作品を作る ・油性マジック等で色を塗ってもよい ・かべかけ工作は麻ひもとヒートンをつける ・マグネット工作はマグネットをつける ④鑑賞(お互いの作品を鑑賞する)		【指導】活動上の指導を行う ・工作の説明、片付け ・グルーガンの使用方法 ・諸注意	
【片付】使用した用具と研修室の片づけを行う 【解散】研修生は引率者の指示に従う			
事後	【片付】物品を返却、活動場所の清掃	【片付】物品の返却を受ける	

引率者の役割	・研修者の安全管理を行う ・用具の管理を行う
活動の留意点	・海浜に出る場合は、必ず海浜出入口を使用する(砂を館内にあげないため) ・活動する際は、机に新聞紙を敷く ・グルーガンの使用時、熱いのでやけどに気を付ける
「玄海の家」で準備できるもの	グルーガン(ホットボンドは団体準備物)、新聞紙、ざる、おろし金
利用団体で準備するもの	石・貝・まつぼっくりなどの自然物(「玄海の家」前の海浜、敷地内)、木工用ボンド、ホットボンド、紙テープ、油性マジック、チョーク、ビニール袋等の作成に使用するもの かべかけ工作で使うもの:杉板・コルクボード・写真立てなどを人数分 (必要に応じて麻ひも、ヒートンなど) マグネット工作で使うもの:マグネット人数分